

壊国

安倍「~~救国~~」内閣

「保守」を自認する多くの人からは「安倍晋三は愛国保守政治家」「日本を救うのは安倍自民しかない！」と熱烈な支持を受け、かたや中国政府などからは「極右政権だ」などといわれる、自民党・安倍晋三首相。彼が首相になって早や半年、その間に安倍内閣が推し進めようとしている政策を改めて見てみると・・・？

TPP

- デフレの加速＝アベノミクス効果が相殺
- 安い労働力の流入＝失業率の増加
- 医療保険の自由化・混合診療の解禁
＝国民皆保険制度の形骸化・医療格差
- ISD条項で国家主権の喪失
- 国内農業の衰退＝食糧自給率の低下
- 遺伝子組み換え・残留農薬・添加物の緩和＝食の安全の崩壊

道州制

- 都市部と過疎地方の格差がさらに拡大し、その格差は同じ道州内でも広がる
- 道州に「立法権」まで与えられた場合、外国人の地方参政権が道州独自で認められるようになり、そのような道州には外国人が集中して居住し、その道州の行政権限は外国人が握ることになる

+

+

消費税増税

(来年4月から8%に)

サービス残業の自由化

(労働時間の長時間化、悪用する企業の懸念)

解雇規制の緩和

(正社員も使い捨てに。人材育成が困難に)

マイナンバー法

(個人情報流出や悪用の懸念)

日中韓FTA

(「声の大きい」中国相手に譲歩ばかりさせられる懸念)

留学生30万人計画

(現在も留学生に返済義務の無い奨学金を税金から給付)

ビザ免除国拡大

(外国人犯罪が増加)

電力自由化・水道民営化

(地震大国・日本で儲け主義になりやすい民営化は危険)

=

外国に都合のいいATM国家・日本

どうですか？ たった半年の間に、せっせと急ピッチで日本をさらに弱らせ、外国の顔色ばかりうかがうような政策を推し進めていることがよく分かりますね。改革・改善が必要だとしても、「鶏を割くに牛刀をもってす」必要はありません。自民党・安倍晋三首相は「愛国保守」でも「極右」でもありません。彼の正体は、小泉純一郎元首相や日本維新の会・橋下徹大阪市長と同じ、小手先の愛国的パフォーマンスで国民を欺く、ただの新自由主義者です。